

# 支部長および支部組織紹介と活動方針

(会員数は会誌送付先による分類)

## 北日本支部

支部長

尾高 雅文



(1997年設立) 北海道・青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島  
正会員 117, 学生 52, 団体 12, 賛助 1

秋田大学大学院理工学研究科 (〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1)  
TEL. 018-889-2091 E-mail: modaka@gipc.akita-u.ac.jp  
副支部長: 小西正朗, 庶務: 杉森大助, 会計: 松村洋寿, 広報: 小関卓也  
編集: 山田美和, 支部監事: 松本謙一郎・中澤 光

このたび、北海道大学松本謙一郎先生の後任として北日本支部長を仰せつかりました秋田大学の尾高雅文です。北日本支部は、担当面積では国土の約4割を占める最大の支部ですが、一方で会員数は他の支部に比べてかなり少なく、広いエリアで効率的に会員の連携・交流を深めることが極めて重要です。冬季の長い北日本支部の地域では伝統的に発酵産業が盛んであり、また、さまざまな生物資源に恵まれています。これらの地域性を活かした産学連携活動を強化するとともに、北日本シンポジウムやオンラインによる大学間の合同ゼミなど、これまでの北日本支部の活動を継承しつつ、若手研究者や学生諸君が交流を深め、生物工学の未来を担うサポートをできるように、北日本支部一丸となって努力したいと考えております。皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 東日本支部

支部長

田中 剛



(1965年設立) 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・山梨  
正会員 779, 学生 172, 団体 42, 賛助 41

東京農工大学大学院工学研究院 (〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)  
TEL. 042-388-7021 FAX. 042-385-7713 E-mail: tsuyo@cc.tuat.ac.jp  
副支部長: 大河内美奈・越智 浩, 庶務・会計: 亀谷将史  
企画・広報: 鈴木市郎・大槻隆司, 編集: 鈴木市郎, 支部監事: 木野邦器・佐久間英雄

このたび東京工業大学上田宏先生の後任として東日本支部長を仰せつかりました東京農工大学の田中剛です。東日本支部は、生物工学フォーラム、学生発表討論会、賀詞交換会、日本生物工学会東日本支部コロキウムなどの行事を通して、日本生物工学会独自の研究・学問領域の開拓と強化、学生や若手研究者にとって魅力ある支部活動の推進、そして生物工学関連産業界との連携強化に努めております。また、生物工学の進歩に寄与した若手会員に対する日本生物工学会東日本支部長賞の授与や生物工学研究に興味を持つ高校生を対象としたセミナー、さらに学生と企業をつなぐ行事の開催など、若手人材の育成や助成にも積極的に取り組んでおります。本会の中で最も長い歴史と多くの会員を持つ支部としての責任を全うし期待に応えるため、より一層活発な支部活動を展開し、本会と生物工学関連研究及び産業の発展に貢献したいと思っております。皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 中部支部

支部長

堀 克敏



(1994年設立) 長野・静岡・愛知・三重・岐阜・富山・石川・福井  
正会員 242, 学生 119, 団体 10, 賛助 7

名古屋大学大学院工学研究科 (〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町)  
TEL/FAX. 052-789-3339 E-mail: khori@chembio.nagoya-u.ac.jp  
副支部長: 二又裕之, 庶務: 加藤竜司, 会計: 中谷 肇, 編集: 吉田信行  
支部監事: 中川智行, 田丸 浩

このたび三重大学田丸浩先生の後任として中部支部長を仰せつかりました名古屋大学の堀克敏です。中部支部では例年、支部例会、CHUBU懇話会、国際シンポジウム Sakura Bio等を開催してきました。支部例会では、招待講演と博士課程学生やポスドクによる講演発表を行っており、優秀発表者には支部長賞を授与しております。CHUBU懇話会は、中部地方に工場や研究所を有する企業と一緒に開催している企業訪問と講演の会です。残念ながらこれらの行事の多くは、コロナ禍において中止またはオンライン開催せざるを得ない状況でした。昨年末に、ようやくCHUBU懇話会を対面で再開することができました。今年度は、9月に名古屋大学にて、第75回生物工学会大会を完全対面形式で開催します。実に4年ぶりの対面開催の大会となります。懇親会も創立100周年記念祝賀会としてオンサイト開催いたします。学会101年目の新しい世紀を刻む大会を、中部支部が担当させていただくことは大変な栄誉であります。生物工学会としては初の試みをいくつか実施する予定であり、参加者の皆様の満足度の高い大会にしたいとの思いで、支部実行委員の先生方にご尽力いただいております。今後とも皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年6月1日より支部長および支部組織が変わりました。  
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

関西支部  
支部長  
東 雅之



(1993年設立) 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山  
正会員 498, 学生 222, 団体 14, 賛助 35

大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻 (〒591-8021 大阪市住吉区杉本3-3-138)  
TEL. 06-6605-3092 E-mail: azuma@omu.ac.jp  
副支部長: 蓮沼誠久・窪寺隆文, 庶務: 尾島由紘, 会計: 富田宏矢, 編集: 立花 亮  
企画: 佐藤喬章・大橋貴生・石井 純・森 英樹・戸谷吉博・赤塚浩之  
支部監事: 大政健史・高橋俊成

このたび、大阪大学大政健史教授の後任として関西支部長を拝命しました大阪公立大学の東です。関西は灘や伏見などわが国の醸造の中心地域を擁しており、関西支部では「醱酵学懇話会」を長年主催し今年には120回目を迎えます。この他にも若手企画セミナー、産学官連携を促進する活動、支部からの国際学会への派遣などを精力的に行なっています。今後も新たな支部役員全員で協力して関西支部の活動を盛り上げ、支部活動に積極的に参加したいと思っける会員の皆様を増やしていきたいと思ひます。これまでも増して皆様のご支援とご協力を何卒よろしくお願ひ致します。

西日本支部  
支部長  
阿座上弘行



(1982年設立) 岡山・広島・山口・鳥取・島根・香川・徳島・愛媛・高知  
正会員 215, 学生 52, 団体 9, 賛助 2

山口大学大学研究推進機構中高温微生物研究センター (〒753-8515 山口市吉田1677-1)  
TEL. 083-933-5854 E-mail: azakami@yamaguchi-u.ac.jp  
副支部長: 黒田章夫, 庶務: 星田尚司, 会計: 高坂智之, 編集: 薬師寿治  
企画: 片岡尚也・佐藤 悠, 支部監事: 赤田倫治・山田 守, 顧問: 稲垣賢二

このたび、高知大学芦内誠教授の後任として西日本支部長を仰せつかりました山口大学の阿座上です。西日本支部では、中四国9県における生物工学の発展と啓蒙、学術交流や意見交換の場として、支部大会(講演会)を隔年開催します。また、生物工学の基礎と応用、あるいは関連技術の進歩に寄与した優れた若手研究者の研究を奨励するため、西日本支部若手研究者賞を設けております。また、生物工学の裾野の拡大を目指して、「パン酵母を利用した組換えDNA実験キット」の高校生などへの普及事業も支部として20年近くサポートしています。微力ではございますが、支部役員と一丸となり、研究活動の一層の充実・発展に努める所存です。皆様の絶大なるご支援とご協力の方、宜しくお願ひ申し上げます。

九州支部  
支部長  
榊原 陽一



(1994年設立) 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄  
正会員 181, 学生 64, 団体 10, 賛助 2

宮崎大学農学部応用生物科学科 (〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1)  
TEL. 0985-58-7211 FAX. 0985-58-7211 E-mail: ysakaki@cc.miyazaki-u.ac.jp  
副支部長: 松崎弘美, 庶務: 吉田ナオト, 会計: 井上謙吾, 編集: 伊東祐二・坂本 寛  
企画: 小林元太・中村彰宏・馬場健史・仲山英樹・玉置尚徳・花井泰三  
支部監事: 外山博英・上平正道

このたび、九州大学上平正道教授の後任として支部長を仰せつかりました宮崎大学の榊原です。九州・沖縄地域での学会活動をサポートして盛り上げていきたいと思ひます。これまで同様に支部大会、市民フォーラムなど魅力的な企画を準備していきます。皆様の参加を心よりお待ちいたしております。新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行され、今後は対面での学会活動がますます活発になることが期待されます。九州支部においても会員交流をこれまで以上に促進していきたいと思ひます。支部役員と協力して、若手人材の育成、地域の産業の活性化に尽力し、支部活動の支援を行っていききたいと考えています。何卒よろしくお願ひ申し上げます。